

あとがき

全く私ごとですが、6月1日から大阪医科大学の学長に就任致しました。学校法人の定めにより、学長専職となります。耳鼻咽喉科学教室の教授としての14年間、あるいは耳鼻咽喉科医としての35年を振り返れば、将に『光陰矢の如し』、『少年老いやすく、学なり難し』が実感です。

耳鼻咽喉科学の臨床では、鼻科学の手術は大きく変貌しましたが、副損傷は増加しているとの報告があります。具体的には副鼻腔構造についての手術解剖習得が技術と並行していないのか心配です。アレルギー性鼻炎の一般的治療は進化したようにみえますが、患者の満足度は決して高くありません。また、20年前の課題であった根治療法はいまだに課題であります。明らかに上顎癌は減りましたが、inverted papillomaからの悪性化は頻度が高くなったように思います。顔面外傷が減少したのは乗用車の改良や乗車マナーの徹底からでしょうか？ アデノイドや口蓋扁桃肥大の小児が増えてきているように思います。

鼻科領域以外でも頭頸部腫瘍の1次癌の制御は可能となったようですが、2次癌や他臓器癌併発症例はまだまだ大きな問題を抱えています。患者さんをみれば、アルコール多飲者で喫煙者が圧倒的に多く、格差社会の疾病構造を直視しているようです。

わが家は小生で耳鼻咽喉科医3代目、長女も耳鼻咽喉科の道を選んだので4代目になります。偶然ですが昨年の暮れから、祖父と父が開業していた家の改修を行っています。象牙やクジラの歯の食道拡張器や明治時代の劇物、毒物など普段お目にかかれないものが沢山出てきました。なかでも祖父のドイツ語の講義録や昭和初期からの診療報酬表などは興味を引きますが、まだ整理はできていません。父が使っていた手術セットにある禿びた歯齧刀には小生も研ぎをした思い出があります。自宅開業医が果たしていた診療責任はきつと想像を絶するほど過酷でも、やりがいがあったのではないのでしょうか。また、祖父や父が記した論文も出てきました。一度、まとめておくのもよいかと娘に伝えようと思っています。

今月号は原著論文で埋められています。特に、若い先生方にとっては魅力的な論文が多いと思います。知識の整理と獲得に夏休みを使われたらいかがでしょう。永年にわたり編集委員を務めました、有り難うございました。2009年6月 梅雨。
(竹中 洋 大阪医科大学学長室にて)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

編集委員

八 木 聰 明

竹 中 洋

吉 原 俊 雄

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第81巻 第9号)

発 行 株式会社 医学書院

2009年8月20日発行 (毎月1回20日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 三報社印刷株式会社 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

2009年 年々ぎめ予約購読料 39,950 円
※電子ジャーナル閲覧オプション付 52,000 円
増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/>です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/>です。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・**JCOPY** < (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。